

IgA				1501500	
				担当部署	
IgA				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項			特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→免疫・自己抗体→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報			特記事項なし		
検査受付時間			8 : 15～16 : 00		
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項			特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング			特記事項なし		
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	他材料	10 青	分離剤	8	mL
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件			室温		
検体受入不可基準			1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間			冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			
生物学的基準範囲		93-393mg/dL 日本臨床検査標準化協議会 共用基準範囲			
臨床判断値		設定なし			
基準値					単位
					mg/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
93	393	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		免疫グロブリン A(immunoglobulinA:IgA)は、B 細胞が産生する分子量が約 17 万の糖タンパク質で約 7%の糖質を含む。血中 IgA は各種の感染症、炎症性疾患、B 細胞の活性化を伴う B 細胞腫瘍で増加する。このため各種感染症、免疫不全症、自己免疫疾患、B 細胞性の腫瘍の疾患のモニタリングの為に測定する。 日本臨床第 7 版 9,2009			